

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 6 週（2月6日~2月12日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2人 類型 患者 1人、 無症状病原体保有者 1人 血清型 O18 1人、O128 1人
四類感染症	報告なし
五類感染症 急性脳炎	1人 病原体 不明
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人 血清群 A群
後天性免疫不全症候群	1人 病型 AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	3人
梅毒	11人 病型 早期顕症 期 4人、 早期顕症 期 3人、 無症状病原体保有者 4人
百日咳	1人 年齢階級 30歳代

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点把握対象疾患では、インフルエンザ(8.31 8.25：図 1-3)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。3 保健所管内が注意報レベル基準値である定点当たり報告数 10.00 以上であり、保健所別では、南部(11.57 22.86)保健所管内で大きく増加し、草加(21.79)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、5 歳及び 6 歳の報告が多い。感染性胃腸炎(8.61 7.34：図 4)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、春日部(15.33)保健所管内では多い状況が続いている。年齢階級別では、1 歳から 5 歳の報告が多く、全体の 56%を占めている。

眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 5 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、無菌性髄膜炎 2 人、インフルエンザ(入院)7 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idschtml>)で御覧になれます。

< インフルエンザ流行情報（第6週） - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

図1 定点当たり報告数の推移

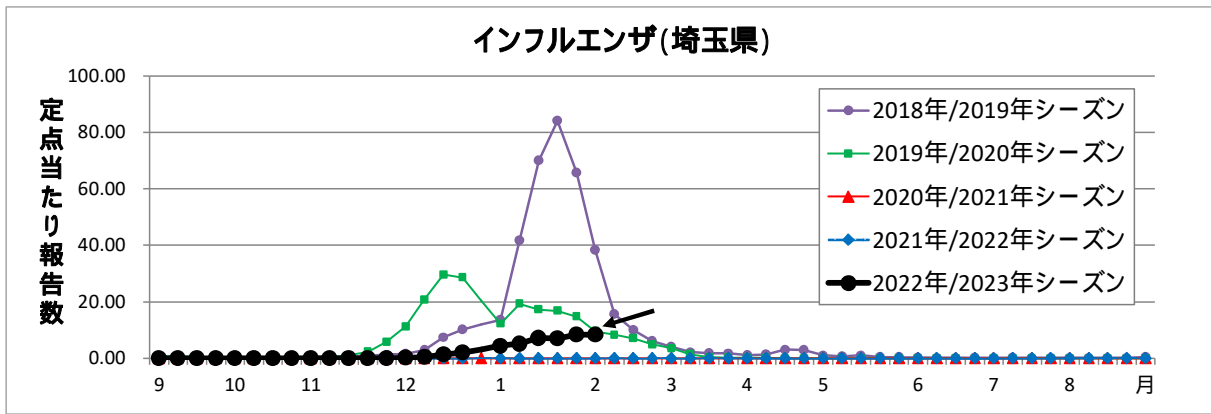


図2 保健所別流行状況の推移（第4週～第6週）

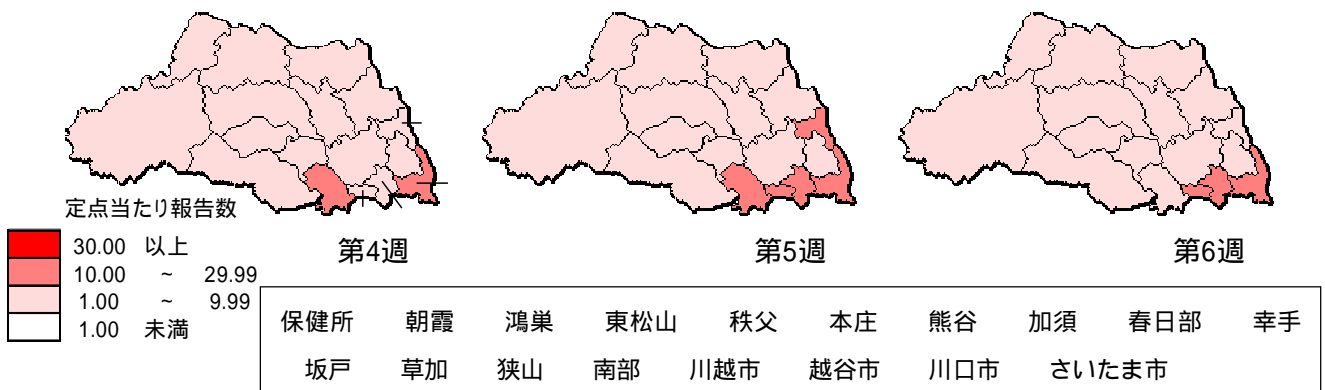
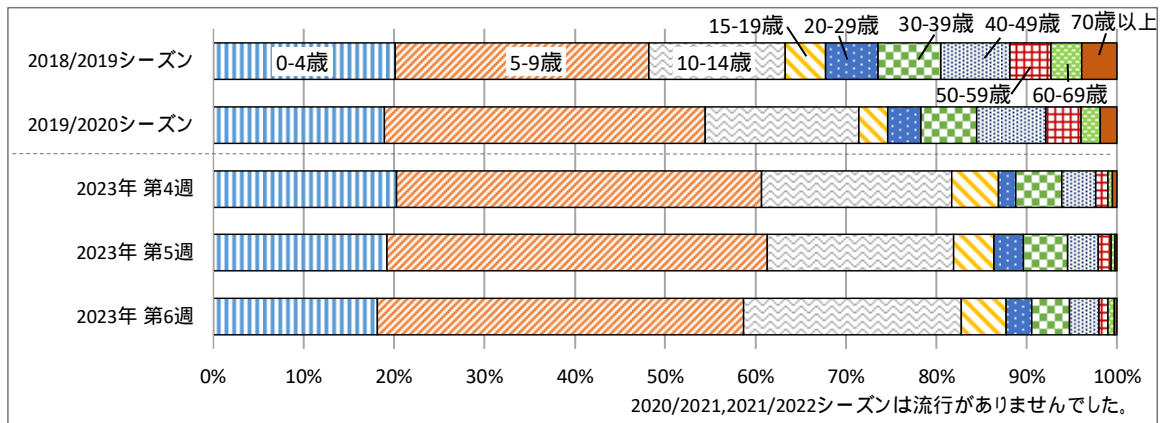
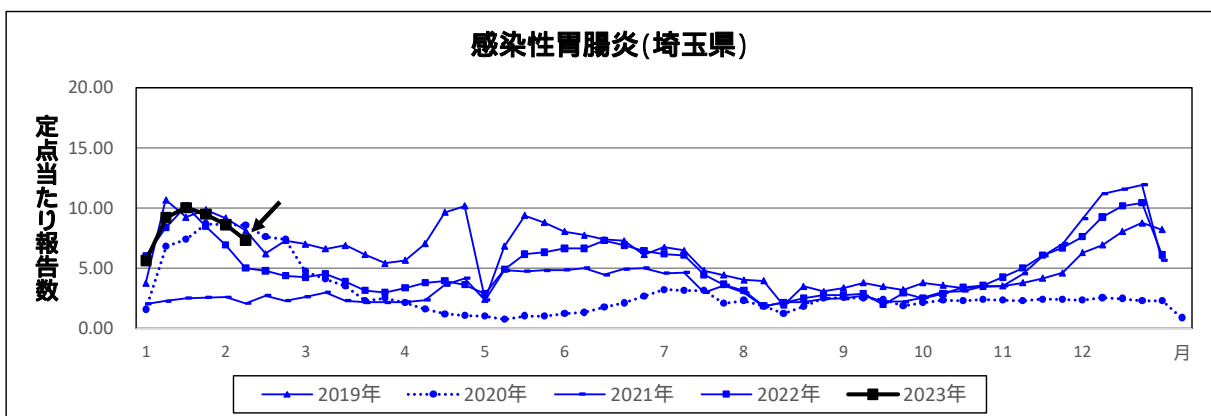


図3 年齢階級別報告割合の推移（2018/2019・2019/2020 シーズン、2023年第4週～第6週）



< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図4 感染性胃腸炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第6週)

(2023年2月14日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2022年 累計		今週 届出	累 計	2022年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス		1	1
細菌性赤痢		1		パラチフス		1	
腸管出血性大腸菌感染症	2	5	145				
四類感染症							
E型肝炎		5	35	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		1	3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘		1		ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症		5	96
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱		1	2	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		4	24	侵襲性肺炎球菌感染症	3	8	47
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			6	水痘(入院例に限る)		1	11
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		3	72	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	1	梅毒	11	58	467
急性脳炎	1	4	35	播種性クリプトコックス症			10
クリプトスポリジウム症				破傷風			3
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	41	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1
後天性免疫不全症候群	1	5	27	百日咳	1	5	14
ジアルジア症				風しん			2
侵襲性インフルエンザ菌感染症			4	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1
新型インフルエンザ等感染症				新型コロナウイルス感染症 * 2			

累計は診断日で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

* 2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

結核届出状況(2023年1月分)

2023年1月の届出総数は、患者44人、疑似症患者1人、無症状病原体保有者21人の計66人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに増加した。前年同月との比較においては患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。推定感染地域は国内38人、国外8人、不明20人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2022年1月～2023年1月)

	2022年*												2023年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	累計**	
総計	67	49	78	64	72	65	68	62	60	64	59	47	66	66	
年齢階級															
10歳未満	1	2	2	3	3	2	1	2	2	2	0	1	1	1	
10歳代	2	0	0	0	3	1	1	1	2	2	0	1	2	2	
20歳代	4	2	6	2	3	7	3	4	0	7	3	3	9	9	
30歳代	6	2	1	1	5	8	4	3	4	4	5	3	5	5	
40歳代	8	6	10	7	8	8	4	5	4	4	3	1	4	4	
50歳代	4	6	5	9	11	5	5	4	6	8	9	9	8	8	
60歳代	7	2	10	3	1	8	9	10	6	6	6	3	7	7	
70歳代	19	11	18	14	17	9	15	16	12	14	14	12	15	15	
80歳代	14	11	24	19	15	15	21	11	18	12	13	12	13	13	
90歳以上	2	7	2	6	6	2	5	6	6	5	6	2	2	2	
性															
男	36	26	49	36	40	42	37	37	28	41	39	34	43	43	
女	31	23	29	28	32	23	31	25	32	23	20	13	23	23	
類型															
患者	43	28	61	46	42	46	44	46	45	41	40	34	44	44	
感染症死者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
無症状病原体保有者	23	21	17	18	30	19	24	16	15	23	19	13	21	21	
病型															
肺結核	33	19	49	30	30	31	26	30	31	28	28	29	31	31	
肺結核及びその他の結核	4	1	3	5	5	3	3	6	6	6	3	0	5	5	
その他の結核	6	8	9	11	7	12	15	10	8	7	9	5	8	8	
疑似症患者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
無症状病原体保有者	23	21	17	18	30	19	24	16	15	23	19	13	21	21	
推定感染地域															
国内	41	29	49	35	46	27	37	36	40	35	39	22	38	38	
国外	1	2	1	0	1	8	3	2	2	2	2	5	8	8	
不明	25	18	28	29	25	30	28	24	18	27	18	20	20	20	

*:2022年の届出数は暫定値

**：2023年1月からの累積届出数

1月に診断された66人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計31人の報告があり、60歳代以上が20人で64%を占めた。無症状病原体保有者は90歳以上を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2023年1月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
総計	31	5	8	1	21	66
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	1	0	0	0	1	2
20歳代	5	1	0	0	3	9
30歳代	3	0	1	0	1	5
40歳代	2	1	0	0	1	4
50歳代	0	0	1	0	7	8
60歳代	4	0	0	0	3	7
70歳代	8	0	3	1	3	15
80歳代	6	3	3	0	1	13
90歳以上	2	0	0	0	0	2

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第6週

2月6日~2月12日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1																		
全 県	報告数 2,113	23	27	65	1,181	20	13	1	35	1	6	-	5	1	2	-	-	-	-	7
	8.25	0.14	0.17	0.40	7.34	0.12	0.08	0.01	0.22	0.01	0.04	-	0.13	0.09	0.18	-	-	-	-	0.64
朝 霞	報告数 131	1	1	5	140	3	1	-	5	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
	5.70	0.07	0.07	0.33	9.33	0.20	0.07	-	0.33	0.07	-	-	0.25	-	2.00	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 99	-	1	1	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	5.21	-	0.08	0.08	4.58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 29	-	1	-	26	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.63	-	0.20	-	5.20	-	-	-	0.80	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 15	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-
	3.00	-	0.33	-	2.67	-	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 54	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.71	-	0.25	-	1.75	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 44	-	-	4	95	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	3.38	-	-	0.50	11.88	0.13	-	-	0.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 48	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.80	-	-	-	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 92	-	5	1	92	-	-	-	1	-	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	9.20	-	0.83	0.17	15.33	-	-	-	0.17	-	0.33	-	-	-	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 109	13	1	3	47	1	-	-	1	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	7.79	1.44	0.11	0.33	5.22	0.11	-	-	0.11	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 32	-	-	2	35	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	3.20	-	-	0.33	5.83	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
草 加	報告数 414	-	-	5	95	13	-	-	3	-	-	-	2	-	*	*	*	*	*	*
	21.79	-	-	0.42	7.92	1.08	-	-	0.25	-	-	-	0.67	-	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 138	1	3	22	113	-	3	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	5.52	0.06	0.19	1.38	7.06	-	0.19	-	0.19	-	0.06	-	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数 160	-	1	6	41	-	-	-	3	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	22.86	-	0.25	1.50	10.25	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数 81	-	-	4	35	-	-	-	-	-	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	6.23	-	-	0.50	4.38	-	-	-	-	-	0.13	-	-	-	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 120	1	-	-	21	-	-	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	9.23	0.13	-	-	2.63	-	-	0.13	0.25	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数 236	1	5	8	162	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	11.80	0.08	0.38	0.62	12.46	-	-	-	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
さいたま市	報告数 311	6	7	4	201	-	8	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	7.78	0.23	0.27	0.15	7.73	-	0.31	-	0.31	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

2月 14日

14:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第6週

2月6日~2月12日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	2,113	8	5	40	63	98	170	212	209	173	143	118	510	104	60	89	68	22	15	5	1	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~							
RSウイルス感染症	23	3	2	5	10	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	27	-	1	4	7	4	3	3	3	1	-	-	-	-	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	-	1	5	6	3	8	12	8	2	4	6	4	-	6							
感染性胃腸炎	1,181	6	52	150	145	126	136	107	88	75	55	34	92	18	97							
水痘	20	-	-	2	1	4	1	5	2	2	-	-	3	-	-							
手足口病	13	-	1	2	1	2	1	4	2	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	35	1	6	19	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	2	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~					
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-					
無菌性髄膜炎	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	7	-	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					1

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第4週 (1月23日～1月29日)

令和5年2月15日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第48週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(41.23)、福井県(25.38)、大阪府(24.34)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は175例と前週と比較して増加した。都道府県別では39都道府県から報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～9歳(86例)、10代(20例)、20代(4例)、30代(8例)、40代(3例)、50代(2例)、60代(9例)、70代(18例)、80歳以上(17例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福島県(2.34)、熊本県(1.42)、香川県(1.11)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.53)、富山県(0.41)、鹿児島県(0.41)、福井県(0.39)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(2.09)、福岡県(0.96)、鳥取県(0.95)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(12.19)、石川県(11.97)、香川県(11.64)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、島根県(0.65)、鹿児島県(0.56)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は高知県(0.07)、新潟県(0.04)、岡山県(0.04)、鹿児島県(0.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は熊本県(0.50)、福岡県(0.36)、宮崎県(0.33)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.08)、神奈川県(0.06)、岡山県(0.06)、宮崎県(0.06)である。

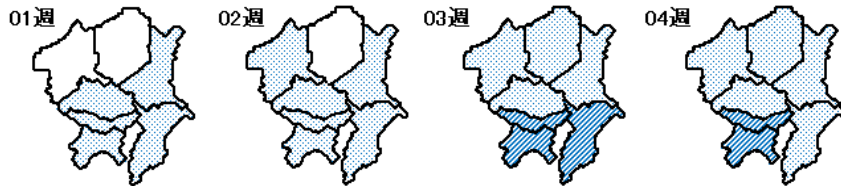
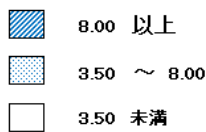
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は石川県(0.20)、宮城県(0.17)、長野県(0.17)、愛媛県(0.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。4都道府県から5例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第4週(1月23日～1月29日): 通巻第25巻 第4号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、神奈川県(9.88)、東京都(9.15)からの報告が多い。

インフルエンザ



2023年 04週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	51,219	12,098	585	452	356	1,798	1,590	3,790	3,527
	定点当たり	10.36	7.96	4.88	5.95	4.14	7.05	7.54	9.15	9.88
RSウイルス感染症	報告数	982	98	12	6	7	23	24	15	11
	定点当たり	0.31	0.10	0.16	0.13	0.13	0.14	0.18	0.06	0.05
咽頭結膜熱	報告数	375	73	4	1	11	12	9	23	13
	定点当たり	0.12	0.08	0.05	0.02	0.21	0.08	0.07	0.09	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,271	287	59	19	7	44	36	59	63
	定点当たり	0.40	0.30	0.79	0.40	0.13	0.28	0.27	0.23	0.28
感染性胃腸炎	報告数	23,230	8,242	400	392	473	1,523	1,171	2,337	1,946
	定点当たり	7.38	8.63	5.33	8.17	8.92	9.52	8.94	8.95	8.57
水痘	報告数	228	75	4	2	11	16	8	23	11
	定点当たり	0.07	0.08	0.05	0.04	0.21	0.10	0.06	0.09	0.05
手足口病	報告数	322	34	-	9	1	8	1	6	9
	定点当たり	0.10	0.04	-	0.19	0.02	0.05	0.01	0.02	0.04
伝染性紅斑	報告数	26	9	-	-	-	2	1	1	5
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.00	0.02
突発性発疹	報告数	695	206	10	7	19	41	22	62	45
	定点当たり	0.22	0.22	0.13	0.15	0.36	0.26	0.17	0.24	0.20
ヘルパンギーナ	報告数	170	8	-	2	-	2	-	2	2
	定点当たり	0.05	0.01	-	0.04	-	0.01	-	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	76	40	1	2	4	6	3	11	13
	定点当たり	0.02	0.04	0.01	0.04	0.08	0.04	0.02	0.04	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	6	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.00	-	-	-	-	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	132	45	10	1	-	11	5	2	16
	定点当たり	0.19	0.22	0.59	0.08	-	0.27	0.15	0.05	0.31
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	9	3	-	-	-	1	-	-	2
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.09	-	-	0.18
マイコプラズマ肺炎	報告数	14	3	1	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.03	0.04	0.08	-	-	0.09	-	-	0.09
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

トップページ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2023年 > 感染症の流行状況 2023年 第6週

感染症発生動向調査
2023年

- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)

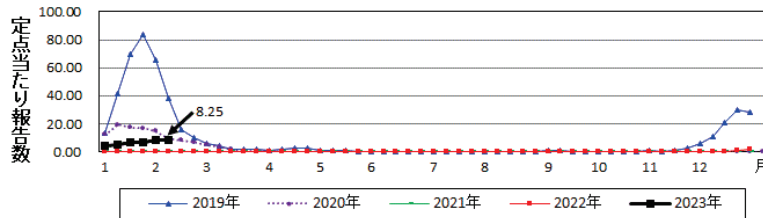
感染症の流行状況 2023年 第6週

2023年第6週（2月6日～2月12日）の要点 令和5年2月15日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週と同水準でした。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン